

平成28年度 稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会 報告書

1 はじめに

稲城市海外姉妹都市検討市民会議作業部会（以下「作業部会」という）は、第1回市民会議にて、候補地や交流事業等について集中審議を行うために設置が決定されました。以降、下記のとおり審議を重ね、作業部会としての結論を得たので報告いたします。

2 作業部会 構成員

部会長	中家 敬士	[文化・体育分野]	(稲城市体育協会)
委員	松本 一宏	[経済活動等分野]	(稲城市農業委員会)
委員	城所 正彦	[教育分野]	(稲城市教育委員)
委員	石橋 良生	[地域活動分野]	(稲城市青少年育成地区委員会正副委員長会)
委員	藤田 佑二	[国際交流実績団体分野]	(稲城国際交流の会)
委員	原 忠男	[公募分野]	(公募市民)
委員	小山 良夫	[公募分野]	(公募市民)

3 作業部会 検討経過・結果

会議	開催日	開催場所	検討内容	検討結果
第1回	7月28日	地域振興プラザ 商工会中会議室	・部会長の選出 ・交流事業及び候補地について	・交流事業及び候補地について意見交換を行い、「 <u>フォスターシティ市を候補地として検討を進めるとともに、他に候補地にできるものがあれば並行して議論して行く</u> 」ことが、挙手全員で一致した。
第2回	8月30日	稲城市役所6階 602会議室	・稲城市民の持つ海外ネットワークの調査結果等について ・フォスターシティ市について	・稲城市民の持つ海外ネットワークの調査（調査対象：稲城国際交流の会の会員、いなぎICカレッジ市民ボランティア理事及び市民ボランティア講師）の結果を基に、市民の国際化の現状を検討するとともに、 <u>当該アンケートで提案された「稲城市と姉妹都市関係を結ぶと良いと考えられる都市」及び、次回の作業部会までに各委員から提案される都市を、候補地検討リストとしてリストアップすることになった。</u> ・フォスターシティ市との交流事業等について意見交換を行い、「 <u>次回の会議で、フォスターシティ市を候補地として検討を進めるとともに、フォスターシティ市と並行して議論していく他の候補地について絞り込みを行う</u> 」こととなった。
第3回	9月29日	地域振興プラザ 商工会中会議室	・海外姉妹都市の候補地の絞り込みについて	・ <u>海外姉妹都市候補地検討リスト（21都市）に基づき、候補地の絞り込みを行い、第1回目の作業部会で候補地としたアメリカ合衆国カリフォルニア州フォスターシティ市に加え、イギリスウェールズ スウォンジー市と、オーストラリア クイーンズランド州 ケアンズ市を候補地として選定した。</u> ※海外姉妹都市候補地検討リスト（21都市）内訳 ①昨年度から継続審議されている都市（6都市） ②アンケート調査により、ICカレッジの方から提案された都市（2都市） ③新たに作業部会の委員から提案された都市（13都市）
第4回	10月13日	地域振興プラザ 商工会中会議室	・交流事業について ・海外姉妹都市交流を実施する組織について	・交流事業を議論する中で、候補地を限定しなければ議論にならないとの意見があり、作業部会として、第1回部会で決まったとおり、 <u>候補地はフォスターシティ市と確認した。</u> なお、 <u>スウォンジー市とケアンズ市は次点候補とし、今後立ち上げる予定である（仮）交流協会において、将来的な交流事業の1つとして検討することは可能という結論となった。</u> ・海外姉妹都市提携後は、交流事業を進める実施主体として、 <u>（仮）交流協会を立ち上げていくのが望ましい。</u>

4 結論

海外姉妹都市の候補地はフォスターシティ市とし、スウォンジー市、ケアンズ市を次点とする。交流事業は、フォスターシティ市から希望や提案のある教育交流やスポーツ交流を中心に考える。また、海外姉妹都市提携後、（仮）交流協会を立ち上げて交流事業を実施するのが望ましい。

■フォスターシティ市との交流事業例

分類	内容	事業例	対象	交流相手	実施方法例
教育交流	異なる環境の中で育まれてきた生活や文化に触れ、情操教育に役立たせるとともに、語学の修得等、教育の向上を図る。また、最先端の技術(シリコンバレーの企業)を知る事で、将来に夢を持つことを目指す。	インターネット、スカイプを活用した交流	市立小・中学校	フォスターシティ市立小・中学校(フォスターシティ市には小学校3つ、中学校が1つあるので、学校交流ができる)	学校の授業の中で実施(スカイプの場合、時差が17時間あるため、日本の9時が、フォスターシティ市では16時頃となり、実施も可能)
		児童生徒の作品(絵画、書道、読書感想文等)の交換展示	市立小・中学校	〃	学校や学級で実施
		手紙(グリーティングカード)の交換	市立小・中学校	〃	クリスマスカード、年賀状を送り合う
		青少年の交換派遣 ・ホームステイ ・学校訪問(シャドースチューデント) ・部活動体験 ・シリコンバレーの企業視察	小・中・高校生	学校・市民	【大阪府豊中市とアメリカ合衆国サンマテオ市との交流例】スピーチコンテスト優勝者が6泊8日のホームステイ。 [市からの補助金]約20万円(渡航経費全額)、それ以上は自己負担
スポーツ交流	スポーツを通じ住民相互の親睦を図るとともに、技術の向上や健康の増進を図る。	少年野球交流	小・中学生	小・中学生	【大阪府豊中市とアメリカ合衆国サンマテオ市との交流例】隔年で行き来。4年に一度向こうに行き、4年に一度向こうからこちらに来る。 [市からの補助金]行く場合はチームへ30万円、迎える場合はチームへ10万円)
		読売ジャイアンツを通じた交流	小・中学生	小・中学生	・プロによる指導教室 ・試合の観戦
		サッカー交流	小・中学生	小・中学生	試合の実施
		東京ヴェルディや日テレベレーザを通じた交流	小・中学生	小・中学生	・プロによる指導教室 ・試合の観戦
		その他スポーツ交流	子ども～大人	子ども～大人	試合の実施
文化交流	異なる環境の中で育まれてきた生活や文化に触れ、市民の情操教育に役立たせるとともに、社会教育団体等の交流を通じ、技術の向上や文化芸術の普及を図る。	各種実施団体との交流(お琴、茶道、華道、書道、弓道、陶芸、舞踊、ダンス、獅子舞、太鼓、写真、合唱、盆踊り等)	各種実施団体	・芸術文化活動をしている団体 ・その他、日本の文化に興味のある方	【向こうへ行く場合】 毎週金曜日にはイベントが行われるので、そこで披露(パフォーマンス等)をすることもできる。 【来る場合】 日本文化を体験してもらう。
		祭り(いまつり、郷土芸能フェスティバル等)への参加	各種実施団体		
		展示会(いまつり芸術祭等)への出展	芸術文化団体連合会等		
		著名人を契機とした交流(大河原邦男氏)	市民		
		駒澤学園の交流(仏教・禅)	駒澤学園		
		その他、文化交流(神社、アニメ、歴史等)	市民		
施設交流	類似施設同士が姉妹施設提携する。	学校や図書館等の施設提携	各施設	フォスターシティ市の施設	特設コーナーを作り、相手の都市を紹介する。図書の寄贈等
防災・災害	災害時に相互に援助ができる体制等を整える。	消防の技術交流	消防団 消防署	フォスターシティ市の消防	お互いの技術を紹介し合う。
		募金(復興義援金)の実施	市民	行政	災害時に募金(復興義援金)を募り、送る。
観光	観光資源を相互に紹介し合う交流を通じて、観光事業の発展を図る。	観光ツアーの実施	市民	市民	ツアー参加者を募り、現地を訪問する。
		物産展での交流	企業・農業者等	企業・農業者等	物産の紹介と販売等
		広報紙やホームページ等で相手の市の紹介	行政	行政	広報紙やホームページ等で相手の市の紹介

※網掛けの部分は、フォスターシティ市から実施の希望や、提案があった部分

(裏面につづく)

分類	内容	事業例	対象	交流相手	実施方法例
組織同士の交流	各種組織・団体の交流を通じ、相互の発展を図る。	商工会の交流 (技術交流、技術提携、直接の契約、販路拡大、企業誘致等)	商工会	フォスターシティ市商工会及び北加日本商工会議所	団体同士で交流を行う。
		・ロータリークラブ ・国際ソロプチミスト ・青年会議所 (交流事業、姉妹クラブの締結等)	ロータリークラブ	フォスターシティロータリークラブ	
			国際ソロプチミスト 青年会議所	(北サンマテオ郡国際ソロプチミスト) (JCI USA)	
農業交流	稲城の特産物である梨・ぶどうの紹介をはじめ、技術交流等を通じて相互の発展を図る。	梨・ぶどうの味覚の紹介	農業者	市民	稲城に来た方に味覚を味わってもらう会を開催する。
		ぶどうやワインを通じた交流(技術交流)	農業者	(北カリフォルニア)	視察や研修を実施する。
経済交流	商業・工業等の産業を通じ、相互の産業の発展を図る。	・商工会工業部会 ・企業同士の交流 (技術交流、技術提携、研修、直接の契約、販路拡大、企業進出等)	商工会	フォスターシティ市商工会及び北加日本商工会議所、企業	団体・企業同士で交流を行う。
			企業	企業	
留学	語学留学(英語・日本語)等の互いの持っている分野を勉強するための留学	語学(英語・日本語)留学	青少年～大人	青少年～大人	ホームステイなどを織り交ぜて、現地で生活する。
		その他留学	青少年～大人	青少年～大人	ホームステイなどを織り交ぜて、現地で生活する。
行政	行政職員のスキルアップを図るとともに、今後の継続的な交流に繋げる。また、市民が行きやすい環境を整えることにより、市民団体等との交流を促進する。	各種情報交換交流	行政	行政	メールや手紙等により、情報交換や今後の交流について意見交換を行う。

【交流事業の考え方についてのご意見】

- ・上記のように、様々な交流の可能性が考えられるが、最初から数多くの交流事業を始める訳ではなく、まずは限られた分野のできる交流から始めていき、徐々に交流の可能性を広げて行くのも良いと考える。
- ・フォスターシティ市からは、主に教育交流やスポーツ交流の希望や提案があることから、まずはその交流から始めるのが良いと考える。
- ・継続的に交流が行われるためには、お互いに無理のない形で進めて行くことが重要である。

【その他、ご意見】

- ・海外姉妹都市は、行政同士が結んで、そこに橋を架けることである。橋を架ければ、学生も、商業も農業も、色々な分野の人達が行き来するようになり、それが海外姉妹都市の完成図だと思う。
- ・既に交流をやっている市町村を見ても、子ども中心の教育交流などがメインであると思うので、その辺をまず始め、段階を踏んで徐々に広げていけば良いと思う。
- ・教育交流では、特定の子どもだけを選別して交流をするのではなく、なるべく多くの児童・生徒に機会を与えられることが一番良いのではないかと考えている。やはり、インターネットやスカイプを使った交流からまず入って行って、行き来できるような「環境作り」からスタートするのが良い。
- ・調印式に、100人や200人規模の大型のツアーを組んで、各種団体の人たちに声をかけて、現地に行くといい。現地を見てもらうことにより、新たな交流も生まれてくる。

交流事業の実施体制について

作業部会では、海外姉妹都市提携後は、(仮)交流協会を立ち上げて、交流事業を実施していくのが望ましいということを確認した。

1 (仮)交流協会についての考え方

- ・海外との交流を進めるにあたっては、しっかりとした組織を作っていく必要がある。
- ・海外との交流事業だけでなく、国内の姉妹都市・友好都市（大空町、相馬市、野沢温泉村）との交流事業も行うことができる組織が良い。
- ・組織は、(仮)交流協会のような外部的な組織を立ち上げるが良い。
- ・市内の様々な団体の協力を得ながら、行政との協働で組織を立ち上げ、将来的には独立した組織とするが良い。
- ・在住外国人とのコミュニケーション事業の実施や情報交換機能などを持つが良い。
- ・姉妹都市以外であっても、色々な都市との交流が進んで来れば、交流協会を対象とできるものとするが良い。